

第2号様式（第5条第1項）
（その1）

令和〇年〇月〇日

（宛先）野田市長

住 所 野田市鶴奉7-1
申請者 氏 名 株式会社〇〇物産
代表取締役 野田 一郎
〔 法人にあつては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名 〕

事業系一般廃棄物減量化計画書

令和〇年度の事業系一般廃棄物減量化計画書を次のとおり提出します。

建築物の名称	〇〇ビル	提出者	☐ 所有者 ☒ 占有者		
建築物の所在地	鶴奉7-1	収容人員	(職員) 1,200人 (外来者等) 500人/日		
廃棄物管理責任者の職、氏名及び連絡先	庶務課長 野田 太郎 電話番号 04-7125-1111	延床面積	12,000m ² 地上 5階 地下 1階		
		建築物の用途	複合用途		
建築物の用途が複合している場合は、記入してください。 用途 事業所名 面積 用途 事業所名 面積 事務所 株式会社〇〇物産 5,000 m ² 事務所 〇〇商事株式会社 5,000m ² 飲食店 〇〇食品 1,000 m ² 小売店 〇〇堂 1,000m ²					
・廃棄物の保管場所 5か所 60m ² ・再生利用等の対象となる廃棄物の保管場所 5か所 30m ²					
廃棄物の減量化についての具体的方法 〈現状〉小売店では簡易包装を励行している。事務所では資源化の徹底が図られている。 〈目標〉小売店では、発砲トレイを使用する商品の見直しを図る。 事務所ではコンピュータ用紙の使用を最小限にする。					
廃棄物の処理及びリサイクルの流れ(フロー図)					
ごみの発生段階で分別	【区分】	【品目】	【保管場所】	【収集運搬業者】	【処分先】
	→ 資源物	→ ・雑紙 ・紙パック ・段ボール ・新聞紙	→ 紙類回収ボックス	→ 資源回収業者 〇〇商店舗	→ 資源再生業者 株式会社〇〇再生紙
	→ 可燃ごみ	→ ・紙くず ・厨芥ごみ ・木くず等 ・繊維くず ・紙おむつ	→ 一般廃棄物	→ 一般廃棄物 収集運搬業者 〇〇商事株式会社	→ 野田市清掃工場
	*記入にあたってのお願い				
・ごみ発生段階から最終処分されるまでの流れを記入してください。 ・業者委託の場合は、委託業者の名称を記入してください。					

(その2)

令和 年度事業系一般廃棄物の減量化の計画

事業所名 株式会社〇〇物産

品目	処理区分					処理方法（委託・自己）	
	発 生 量 (トン) (A+B+C)	自家処理量 (トン) (A)	廃 棄 量 (トン) (B)	資源化量 (トン) (C)	資 源 化 率 (%) (C/(B+C))	委託業者の名称	
						廃棄処理	資源回収
1 雑紙	26.0			26.0	100%		〇商店
2 紙パック	0.5			0.5	100%		〇商店
3 段ボール	15.0			15.0	100%		〇商店
4 新聞紙	0.5			0.5	100%		〇商店
5 上記以外の紙	36.0		5.4	30.6	85%	〇商事	〇商店
6 厨芥（生ごみ）	5.0	5.0			100%		
7 木くず等	5.0			5.0	100%		〇商店
8 繊維くず※1	3.0		0.5	2.5	83%	〇商事	〇商店
9 その他（ ）							
10							
計	91.0	5.0	5.9	80.1	93%		
自家処理の場合の処理方法：堆肥化							

自家処理：事業所内において処理されるごみ(コンポスト利用等)

廃棄：再資源化されることなく処分されるごみで、自家処理分を除いたもの。

資源化：再生資源として利用することを目的として、専門業者等に回収されること。

※1 油が付着したものや合成繊維製のウェス等は、産業廃棄物になります。

別記第 1 号様式（第 4 条第 2 項）

廃棄物管理責任者選任（変更）届出書

令和〇年〇月〇日

（宛先）野田市長

住所 野田市鶴奉 7－1
氏名 株式会社〇〇物産
代表取締役 野田 一郎
〔 法人にあっては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名 〕

野田市廃棄物の処理及び再利用に関する規則第 4 条第 2 項の規定により、次のとおり届け
出ます。

建築物の所在地		野田市鶴奉 7－1	
建築物の名称		〇〇ビル	
選 任	廃棄物管理責任者の氏名	職名 庶務課長 ふりがな のだ たろう 氏名 野田 太郎 電話番号 04-7125-1111 （内線）3202	
変 更 前	廃棄物管理責任者の氏名及び変更年月日	ふりがな 氏名 年 月 日変更	
	変更の事由		